

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和4年10月11日
第33号



現在、地域の「緑の会」の皆様、桜台小の「園芸ボランティア」の皆様を中心に、朝早くから運動場の除草作業が行われています。今夏は大雨続きで、一時期昨年度よりも多くの草で運動場が覆われてしまい、なかなか除草が進まず困っていましたが、継続作業をしていただいているおかげで、本当にきれいな運動場に生まれ変わりました。ご支援をいただいている皆様には、本当に感謝の気持ちで頭がさがります。誠にありがとうございます。

さて、先日の朝、運動場で「緑の会」の代表の方と談笑していたところ、数名の子どもたちが近寄ってきて「朝早くから運動場をきれいにしてもらってありがとうございます」とあいさつにきました。そんな子どもたちの姿に、代表の方も大変喜んでみえました。また、給食調理員から、子どもたちの中に「和食が好きで、その日の献立を楽しみにしてくれている子がいること」「自分たちのために一所懸命おいしい給食を作ってくれていること」に対し、ねぎらいの言葉をかけに来てくれている子がいること」を教えてもらいました。

子どもたちは、自分たちのために、がんばっている大人がいることをしっかりと理解しているのだと嬉しい気持ちになりました。今後は少しずつ、そんな子どもたちの温かい心の輪が広がっていけばいいなあと思います。
※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



算数の校内全体授業研究を行いました。

9月29日(木)、1年2組で算数の校内全体授業研究を行いました。本校では、教員の教科指導の向上を図るため、年に3回の校内全体授業研究を行い、それとは別に、低中高学年のグループに分かれた、学年別研修という授業研究を行っています。今回は『「10といくつ」という数の見方に着目し、 $9+4$ の計算の仕方を考える』という課題で提案授業を行いました。子どもたちは、実際にブロックを操作し、どうしたら答えが導き出せるのかを一所懸命考えていました。繰り上がりの計算は、今回初めて学習する内容で、1年生ではつまずきやすい内容の単元の一つとなっています。プリントに記入することや、前を向いて教員やなかまの話を聞くことがしっかりとできていて、1年生入学したての頃と比べると、大きな成長を感じました。

放課後には、四日市市教育委員会指導課の指導主事にも参加いただき、授業の事後研修会を開きました。今年度は「学び深め合う」ことに焦点を当て、授業の中で「見通しを持たせること」「筋道を立てて考えること」を意識しながら、学び深め合う子どもの姿をめざして、授業研究を進めています。



道徳の授業(4年生)を行いました。

本校は、令和5年度に第36回「せいかつ」実践交流会のレポート報告を控えています。この実践交流会では「人権・同和教育を進めていく上で、人権学習教材をどのように位置付け、発展させているか」が大きなテーマとなっており、そのために、現在4年生を中心として授業実践を進めています。四日市市教育委員会 人権・同和教育課 指導主事にもアドバイスをいただきながら、今年度はこれまでに2回授業実践を行いました。10月6日(木)には、「わたしのものさし」という教材で『仲の良いまりさんから「けんたくんと遊ばないで」といわれたので、遊ばない」と言われたので、遊ばない」という事柄を取り上げ、「そうする」「そうしない」の自分はどちらの立場に立つか、という課題を学級で話し合いました。

まだまだ子どもたちの意見は観念的で、現実には即していないものもありますが、こういった学習を積み重ねていく中で、子どもたちの人権意識の高揚を図っていきたいと考えています。

4年生での人権学習に関する授業実践は、今年度あと2回程度の実施を予定しています。(文責 北住 昌文)

